

私を変えた先生との出会い

私は中学3年生の時、私が教師を目指すきっかけとなった一人の先生と出会った。もともと教師になりたいと小学生の頃から考えていたが、漠然としていて明確な考えはなかった。そんな時、先生と出会い私の人生が変わった。先生は私の数学の教科担任であり、学年の進路指導をしていた。とても生徒思いで、何事にも全力で取り組む非常にパワフルな人だった。第一印象は、怖そう…。ただそれだけであったが、いつも生徒に囲まれている先生を見て、「どうしてあんなに生徒に慕われるのだろう。」と疑問を抱いていた。しかし、私は直接その答えを知る体験をした。

受験生であった私は、部活動や勉強、人間関係などさまざまな悩みを一度に抱え込んでしまい、精神的に病み、カウンセリングを受けていた時期があった。クラスメイトや担任の先生でさえも怖くなってしまい、全ての人たちと関わりたくなかった。そんな私の心の闇を見つけ、一番に気付いてくれたのが先生だった。担任でないのに私の相談を真剣に聞き慰めてくれた。何も言わず「うん。うん。」と私の思いを全て聞いてくれた。この人なら私の全てを受け止めてくれるから大丈夫だと思い始めて、自然と言葉が出てくるようになった。そのおかげでアドバイスをもらいながら、少しずつ元気な私に戻っていった。部活動でも良い結果を残し、人間関係も良好となり、勉強面でも第一志望校に推薦で合格した。このたくさんの成功をくれたのは先生だ。合格通知を見せ、お礼を言いに行くと、「当たり前だろ。担任でなくても俺の生徒だ！」と笑顔で言ってくれた。この瞬間、私は「これが本当の教師なんだ。ただ勉強を教えるだけでない。全てを支えてくれる本物の教師・・・」と思い、いつかこの先生を超える教師になってみせると決心した。

卒業式の日、私は「先生を超える先生になってみせる。」と先生に宣言し、先生からは「絶対叶えろよ。約束だ！」と言われて卒業した。今でもずっと先生は私の憧れの存在だ。だから私は、先生の出身大学を第一志望校として勉強を続けている。先生のように、勉強だけでなく生徒の全てを支えられる教師になりたい。私の人生を変えてくれた先生が大好きだ。卒業式の日にした約束を果たすため、先生の背中を追いかけ続けている。

久保 帆乃香
(高校生)